

# 富士通の コーポレートガバナンスについて

2016年3月8日  
富士通株式会社  
法務・コンプライアンス・知的財産本部  
コーポレート法務部  
統括部長 丹羽正典

# 富士通のコーポレートガバナンスの 基本的な考え方

# 基本的な考え方

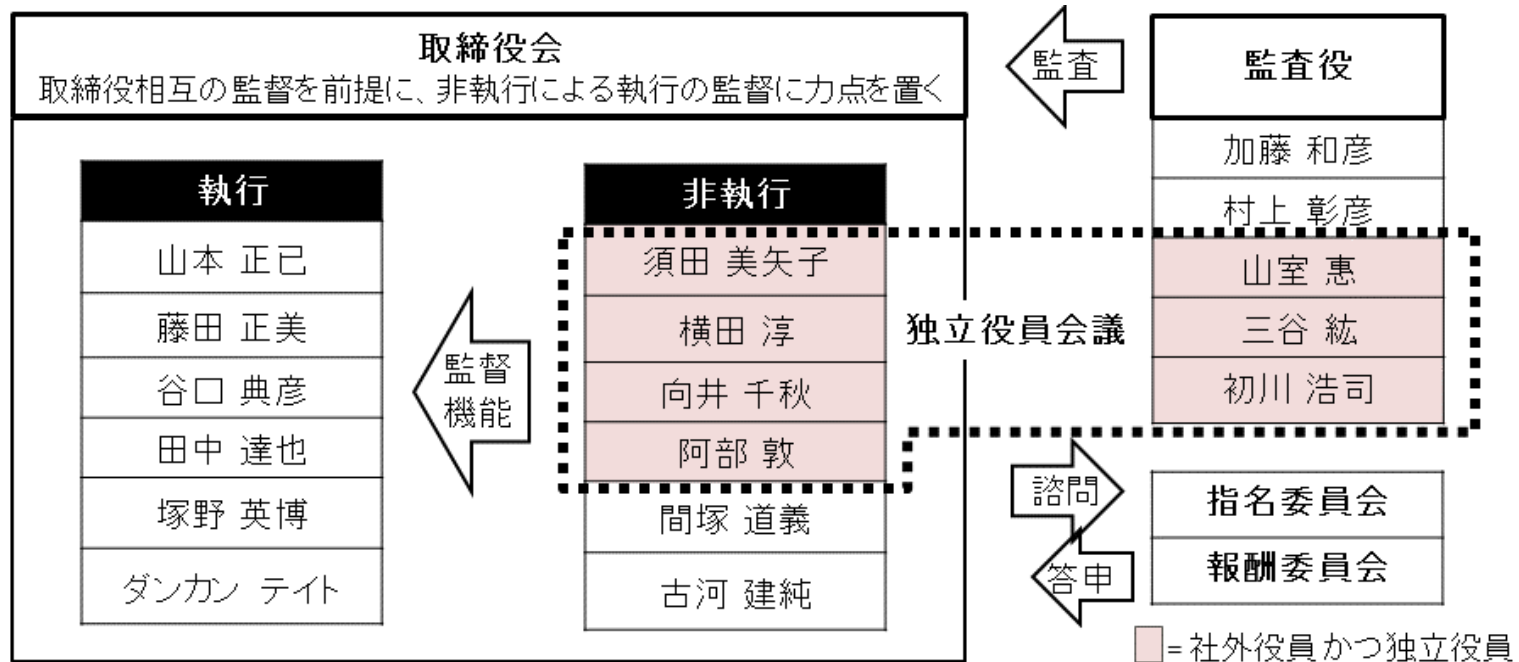
- 取締役会における**非執行取締役**による**業務執行取締役の業務執行に対する監督と多様な視点からの助言**に力点を置く

① 監督の実効性

- ・ 業務執行取締役に対し、非執行取締役を同数以上確保

② 助言の実効性

- ・ 選定にあたり、出身の属性と当社事業への見識を考慮

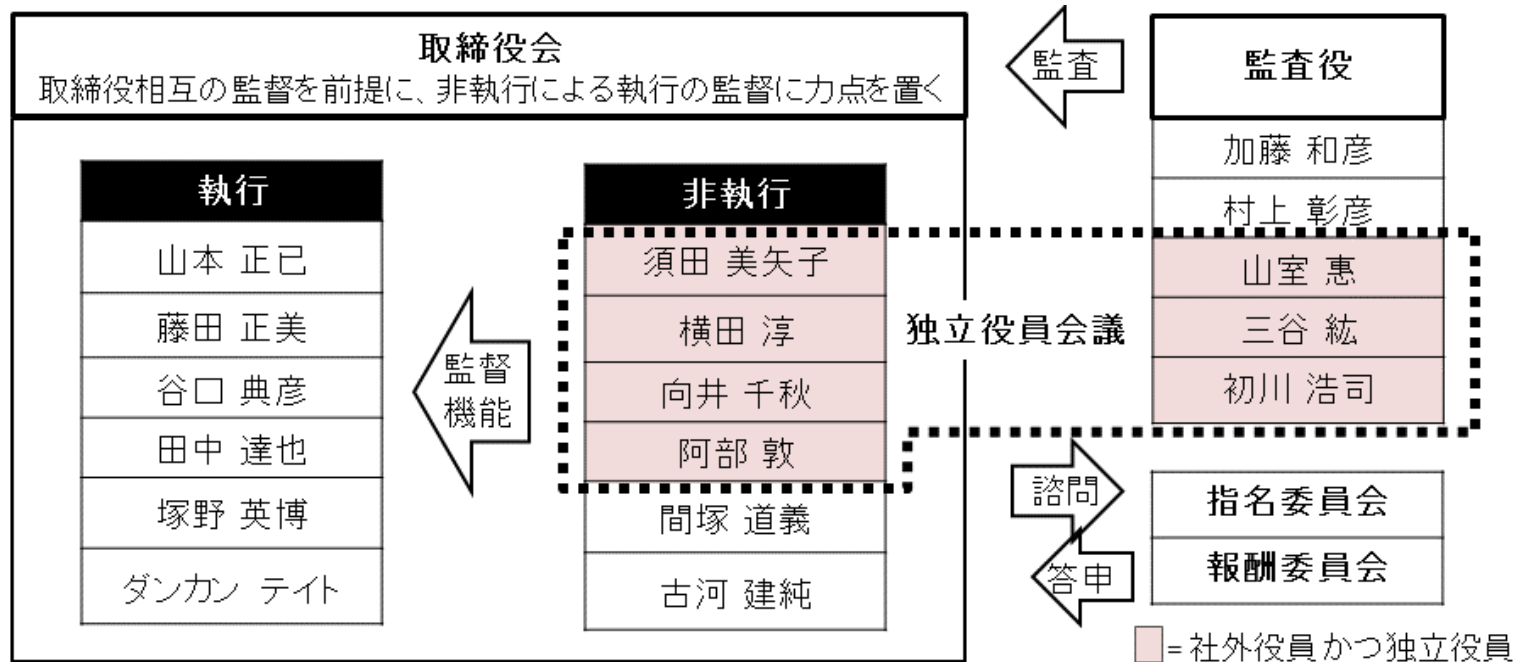


# 基本的な考え方

- 取締役会における**非執行取締役**による業務執行取締役の**業務執行に対する監督**と**多様な視点からの助言**に力点を置く

## ③ 取締役会の補完

- ・ 独任制の監査役による取締役会の外からの監査、監督
- ・ 非執行役員を中心に構成する任意の指名委員会、報酬委員会および「**独立役員会議**」の設置



# 取締役会の構成

# 取締役会の構成

- 先述の「考え方」と、「コーポレートガバナンス・コード」の要請するところも踏まえて取締役候補者を選定

	2015年株主総会	2016年株主総会 (予定)
業務執行 取締役	6名 全社的視点と株主が業務執行取締役に期待する 役割から候補者を選定  [役割] <ul style="list-style-type: none"><li>・ 株主・投資家との建設的な対話の観点（塚野取締役）</li><li>・ グローバルなビジネスの観点（テイト取締役）</li><li>・ コンプライアンスやリスク管理の観点（藤田代表取締役）</li><li>・ 事業推進全般の観点（谷口取締役）</li></ul>	5名 前年の方針を維持
非執行 取締役	6名（うち社外4名） コードが独立社外取締役の活用を強調していることを 踏まえ、より独立性が高い候補者を選定	5名（うち社外4名） 経営方針*の策定に 関わった独立役員 会議メンバーを重任

\*2015年10月29日公表

# 社外取締役の活用

業務執行に対する監督と多様な視点からの助言を期待



須田 美矢子 (すだ みやこ)

## 略歴

- 1982年 4月 専修大学経済学部助教授
- 1988年 4月 同大学 経済学部教授
- 1990年 4月 学習院大学経済学部教授
- 2001年 4月 日本銀行政策委員会審議委員 (2011年3月まで)
- 2011年 5月 一般財団法人キャングローバル戦略研究所  
特別顧問 (現在に至る)
- 2013年 6月 当社取締役 (現在に至る)





横田 淳 (よこた じゅん)

## 略歴

- |          |  |
|----------|--|
| 1971年 4月 | 外務省入省                                      |
| 1998年 1月 | 大臣官房審議官 兼 経済局                              |
| 2002年 6月 | 在香港日本国総領事館 総領事                             |
| 2004年 4月 | 在イスラエル日本国大使館 特命全権大使                        |
| 2009年 5月 | 在ベルギー日本国大使館 特命全権大使                         |
| 2012年10月 | 特命全権大使 経済外交担当<br>兼イラク復興支援等調整担当 (2014年1月まで) |
| 2014年 6月 | 一般社団法人日本経済団体連合会<br>経団連会長特別アドバイザー (現在に至る)   |
| 2014年 6月 | 当社取締役 (現在に至る)                              |
| 2014年 7月 | 指名委員会委員、報酬委員会委員 (現在に至る)                    |



向井 千秋 (むかい ちあき)

## 略歴

- 1977年11月 慶應義塾大学医学部外科学教室医局員  
(1985年11月まで)
- 1985年 8月 宇宙開発事業団(現 宇宙航空研究開発機構)  
搭乗科学技術者 (宇宙飛行士) (2015年3月まで)
- 1987年 6月 アメリカ航空宇宙局ジョンソン宇宙センター 宇宙生物医学  
研究室 心臓血管生理学研究員 (1988年12月まで)
- 1992年 9月 ベイラー大学非常勤講師 (2011年8月まで)
- 2000年 4月 慶應義塾大学医学部外科学客員教授 (現在に至る)
- 2004年 9月 国際宇宙大学客員教授 (2007年9月まで)
- 2007年10月 宇宙航空研究開発機構 有人宇宙技術部  
宇宙医学生物学研究室室長
- 2011年 4月 同機構 特任参与 (2015年3月まで)
- 2014年10月 日本学術会議 副会長 (現在に至る)
- 2015年 4月 東京理科大学 副学長 (現在に至る)
- 2015年 6月 当社 取締役 (現在に至る)



阿部 敦 (あべ あつし)

## 略歴

- 1977年 4月 三井物産(株)入社
- 1990年 6月 同社 電子工業室課長
- 1993年 1月 アレックス・ブラウン・アンド・サンズ (現 ドイツ銀行)  
マネージング・ディレクター
- 2001年 8月 ドイツ証券会社 (現 ドイツ証券(株))  
執行役員兼投資銀行本部長
- 2004年 8月 J.P.モルガン・パートナーズ・アジア (現 ユニタス・キャピタル)  
パートナー兼日本代表 (2009年3月まで)
- 2007年 5月 エドワーズ・グループ・リミテッド取締役 (2009年10月まで)
- 2009年12月 (株)産業創成アドバイザー代表取締役 (現在に至る)
- 2011年 2月 オン・セミコンダクター・コーポレーション取締役 (現在に至る)
- 2015年 6月 当社 取締役 (現在に至る)

## 「独立役員会議」の設置とサポート体制の整備

### ■ 設置の狙い

中長期の収益性の向上に資する「攻めのガバナンス」の強化を図るための取り組みの一つとして、独立役員の会議体（独立役員会議）を設置いたします。

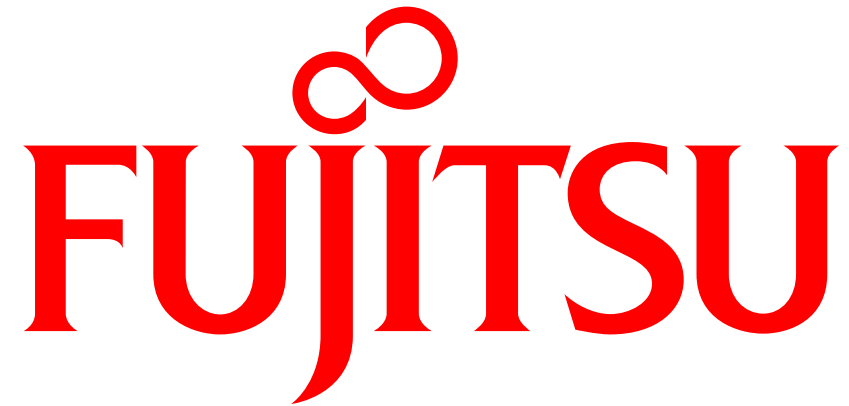
独立役員の活用を促すコーポレートガバナンス・コードの要請に応えつつ、取締役会において中長期の会社の方向性に係る議論を活発化するためには、業務の執行と一定の距離を置く独立役員が恒常的に当社事業への理解を深めることのできる仕組みが不可欠と考え、同会議では、独立役員の情報共有と意見交換を踏まえた各役員の意見形成を図ります。

また、同会議では、コーポレートガバナンス・コードのその他の要請についても検討を進め、当社のコーポレート・ガバナンスのあり方を追求してまいります。

（2015年4月30日付当社プレスリリースより抜粋）

### ■ サポート体制

「独立役員会議支援室」の設置



shaping tomorrow with you

# 免責事項

このプレゼンテーション資料、及びミーティングで配布されたその他の資料や情報、及び質疑応答で話した内容には、現時点の経営予測や仮説に基づく、将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの将来の見通しに関する記述において明示または黙示されていることは、既知または未知のリスクや不確実な要因により実際の結果・業績または事象と異なることがあります。

実際の結果・業績または事象に影響を与うるリスクや不確実な要素には、以下のようなものが含まれます。

(但しここに記載したものはあくまで例であり、これらに限られるものではありません)

- 富士通の提供するサービスまたは製品にとって主要な地域（日本、EMEIA、アメリカ、アジア、オセアニアなど）のマクロ経済環境や市況動向。中でも当社顧客の I T 支出に影響を及ぼすような経済環境要因。
- 急速な技術変革や顧客需要の変動。及び富士通が参入している I T 市場、通信市場、電子デバイス市場での激しい価格競争。
- 他社との戦略的提携や、合理的条件下での他社との取引を通じて、富士通が特定のビジネスから撤退し、関連資産を処分する可能性。およびこのような撤退・処分から発生する損失の影響。
- 特定の知的財産権の利用に関する不確実性。特定の知的財産権の防御に関する不確実性。
- 富士通の戦略的提携企業の業績に関する不確実性。
- 富士通の保有する国内外企業の株式の価格下落が、損益計算書や財政状態計算書などの財務諸表に与える影響。およびこの保有株式の株価下落により発生した富士通の年金資産の評価減とこれを補うために追加拠出される費用の発生による影響。
- 顧客企業の業績不振、資金ショート、支払不能、倒産などに起因する売掛債権の回収遅延や回収不能によって、当社が被る損害の影響。
- 富士通が売上収益及び利益を計上している主な国の通貨と日本円との為替レートの変動、および富士通が資産や負債を計上している主な国の通貨と日本円との為替レートの変動により発生する影響（特に、日本円と、ユーロ、英ポンド、米ドルとの間の為替差損益の影響）。